

# 官報

號外 昭和十二年八月六日

## 第七十一回貴族院議事速記録第九號

帝國議會

昭和十二年八月五日(木曜日)午前十時十一分開議

### 議事日程 第九號

昭和十二年八月五日

午前十時開議

#### 第一 通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

#### 第二 產金法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

#### 第三 金準備評價法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

#### 第四 金資金特別會計法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

#### 第五 日本銀行金買入法廢止ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

#### 第六 朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第十一 昭和七年法律第四號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十二 大正十四年法律第五十一號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十三 鐵ノ輸入税免除ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十四 大正九年法律第五十三號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十五 昭和十年年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第十六 昭和十年年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第十七 昭和十年年度特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第二十 自昭和十一年一月昭和十年年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第二十一 自昭和十一年一月昭和十年年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第二十二 自昭和十一年一月昭和十年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第二十三 昭和十一年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第二十四 昭和十一年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第二十五 昭和十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第二十六 昭和十二年勅令第三百三十號(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第二十七 人造石油製造事業法案(政府提出、衆議院送付) 會議

第二十八 帝國燃料興業株式會社法案(政府提出、衆議院送付) 會議

第二十九 大正十二年法律第五十二號中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第三十 自昭和十一年一月昭和十年年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第三十一 自昭和十一年一月昭和十年年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第三十二 自昭和十一年一月昭和十年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

第三十三 昭和十一年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會議

○議長(伯爵松平賴壽) 報告ヲ致サセマ

(石橋書記官朗讀)

昨四日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

船員法改正法律案特別委員會

委員長 侯爵西郷 從德君

副委員長 伯爵後藤 一藏君

農村負債整理資金特別融通及損失補償法案特別委員會

委員長 侯爵久我 通顯君

副委員長 內藤 久寬君

人造石油製造事業法案特別委員會

委員長 公爵一條 實孝君

副委員長 伯爵堀田 正恒君

同日內閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

第七十一回帝國議會大藏省所管事務政府委員

大藏書記官 松隈 秀雄君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

人造石油製造事業法案可決報告書

帝國燃料興業株式會社法案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案

產金法案

金準備評價法案

金資金特別會計法案

日本銀行金買入法廢止ニ關スル法律案

朝鮮銀行法中改正法律案

臺灣銀行法中改正法律案

外國爲替管理法中改正法律案

橫濱正金銀行條例中改正法律案

關稅定率法中改正法律案

昭和七年法律第四號中改正法律案

大正十四年法律第五十一號中改正法律案

鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案

大正九年法律第五十三號中改正法律案

昭和十年度第一豫備金支出ノ件

昭和十年度特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和十年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和十年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度第二豫備金支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度特別會計第二豫備金支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度特別會計第二豫備金支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度特別會計第二豫備金支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度特別會計第二豫備金支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度特別會計第二豫備金支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

自昭和十一年一月昭至同年三月昭

十年度特別會計第二豫備金支出ノ件

(承諾ヲ求ムル件)

同日議員ヨリ左ノ質問主意書ヲ提出セリ依テ即日之ヲ政府ニ轉送セリ

度量衡制度ニ關スル質問主意書(侯爵徳川義親君外五名提出)

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、本日侯爵大隈信常君、侯爵山階芳麿君、何レモ病氣ニ付紀元二千六百年記念日本萬國博覽會抽籤券附回數入場券發行ニ關スル法律案特別委員ノ辭任ノ申出ガゴザイマシタ、之ヲ許可スルコトニ御異議ゴザイマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス、就キマシテハ其ノ補闕ト致シマシテ、公爵島津忠承君、侯爵中御門經恭君ヲ指名致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第一通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、太田大藏政務次官

(左ノ通牒文及法律案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案

逓信省及逓信大臣ノ管理ニ屬スル官署ニ於テ取扱フ簡易生命保險及郵便年金ノ事務ニ要スル經費ハ通信事業特別會計ノ所屬トス

簡易生命保險特別會計及郵便年金特別會計ハ前項ニ規定スル經費ニ充ツル爲毎年度通信事業特別會計ニ繰入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル繰入金ハ通信事業特別會計業務勘定ノ歳入トシ第一項ニ規定スル經費ハ同勘定ノ歳出トス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(政府委員太田正孝君演壇ニ登ル)

○政府委員(太田正孝君) 只今議題トナリマシタ通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案、提出ノ理由ヲ説明致シマス、保健社會省ヲ設置セラルルコトナリマシタコトニ伴ヒマシテ、簡易生命保險及郵便年金ノ二ツノ事業ハ、保健社會省ニ於テ掌ラレルコトニナリマシタ、從テ簡易生命保險及郵便年金ノ兩特別會計ハ之ヲ同省ニ移スコトニナルノデアリマス、然ルニ簡易生命保險及郵便年金ノ現業務及右現業務ノ管理ニ關スル事務ハ、之ヲ逓信省及逓信大臣ノ管理ニ屬スル官署ニ於テ取扱フコトト致シマス關係上、之ヲ取扱ニ要スル經費ヲ通信事業特別會計ニ所屬セシメ、其ノ財源ニ相當スル金額ヲ、右ノ兩特別會計カラ通信事業特別會計ニ繰入ルルコトトス

ルニ必要ナル會計上ノ處理ニ關スル規定ヲ設クル爲、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題ニナリマシタ通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案ハ、關聯スル所ガアリマスガ故ニ、船員法改正法律案ノ特別委員ニ併託セラレムコトノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第二產金法案、日程第三、金準備評價法案、日程第四、金資金特別會計法案、日程第五、日本銀行金買入法廢止ニ關スル法律案、日程第六、朝鮮銀行法中改正法律案、日程第七、臺灣銀行法中改正法律案、日程第八、外國爲替管理法中改正法律案、日程第九、橫濱正金銀行條例中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ八案ヲ一括シテ議題ニ供スルコトニ御異議ゴザイマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス、太田大藏政務次官

產金法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

### 產金法案

#### 產金法

第一條 含金礦物、砂金又ハ製鍊ノ過程ニ在ル含金物（以下含金礦產物ト總稱ス）ヲ取得シタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ金地金ニ製鍊シテ政府ニ賣却シ又ハ之ヲ金製鍊業者若ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金礦產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ賣却スベシ

前項ノ含金礦產物ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ含金礦產物ヲ取得シタル者ニ對シ之ヲ金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金礦產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ政府ノ指定スルモノニ賣却スベキコトヲ命ズルコトヲ得

政府ハ必要アリト認ムルトキハ金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金礦產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ政府ノ指定スル者ヨリ含金礦產物ヲ買入ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第三條 金製鍊業者ヲ營マントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ免許ヲ受ケベシ業トシテ含金礦產物ノ買入ヲ爲サントスル者亦同ジ

前項ノ免許ヲ受ケ金製鍊業者ヲ營ム者ハ之ヲ金製鍊業者ト稱ス

金製鍊業者又ハ第一項ノ規定ニ依リ含金礦產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ非ザレバ含金礦產物ヲ讓受クルコトヲ得ズ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 金製鍊業者其ノ事業ヲ廢止シ又ハ休止セントスルトキハ政府ノ許可ヲ受クベシ

金製鍊業者ノ讓渡又ハ金製鍊業者ヲ營ム會社ノ合併若ハ解散ノ決議若ハ總社員ノ同意ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

相續人ガ被相續人ノ金製鍊業者ヲ承繼シタルトキハ相續人ハ金製鍊業者ノ免許ヲ受ケタル者ト看做ス此ノ場合ニ於テハ相續人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ政府ニ届出ツベシ

受クベシ

第五條 金製鍊業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ之ヲ政府ニ届出ツベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第六條 政府ハ產金ノ増加ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ金製鍊業者ニ對シ製鍊設備ノ擴張、改良其ノ他製鍊設備ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第七條 金製鍊業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ之ヲ政府ニ届出ツベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第八條 政府ハ產金ノ増加ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ金製鍊業者ニ對シ探鑛、掘採、採取若ハ選鑛ニ付設備ノ新設、擴張、改良其ノ他必要ナル事項ヲ命ジ又ハ製鍊設備ノ新設ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル命令ニ依リ製鍊設備ノ新設ヲ爲シタル者ハ金製鍊業者ト看做ス

第九條 政府ハ公益上必要アリト認ムルトキハ金製鍊業者、金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金礦產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ含金礦產物ノ取引ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第十條 政府ハ金製鍊業者、金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金礦產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ検査ヲ爲スコトヲ得

政府ハ金製鍊業者、金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金礦產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

入ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ含金礦產物ノ取引ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ金ノ價格又ハ金ノ使用ノ制限其ノ他金ノ使用ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第十二條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ金貨幣、金地金、金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ取得、處分又ハ保有ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ検査ヲ爲スコトヲ得

第十三條 鑛業法第五十條乃至第七十條、第九十二條、第九十三條、第九十九條第一項、第九百三條及第九百四條ノ規定ハ金製鍊業者ニ非ザル金製鍊業者ニ關シ之ヲ準用ス

第十四條 政府第二條、第六條、第八條第一項、第九條又ハ第十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲サントスルトキハ金委員會議ノ議ヲ經ベシ

金委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 金製鍊業者又ハ金製鍊業者其ノ事業ノ爲必要ナル器具、機械其ノ他ノ材料ヲ政府ノ認可ヲ受ケ輸入スルトキハ本法施行ノ日ヨリ五年間命令ノ定ムル所ニ依リ輸入税ヲ免除ス

第十六條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ金製鍊業者及金製鍊業者ニ對シ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得

第十七條 詐欺ノ行爲ヲ以テ前條ノ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ金額ノ返還ヲ命ズ

前項ノ規定ニ依リ返還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

第十八條 金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金礦產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ政府ノ命ジタル事項ヲ執行セザルトキハ政府ハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ制限シ、第三條第一項ノ許可ヲ取消シ又ハ法人ノ役員ノ解任ヲ爲スコトヲ得

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ當該金地金又ハ含金礦產物ノ價額ノ三倍ガ五千圓ヲ超ユルトキハ罰金ハ其ノ價額ノ三倍以下トス

一 第一條第一項ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ金地金ヲ政府ニ賣却セザル者

二 第一條第一項ノ規定ニ違反シテ金地金ヲ政府以外ノ者ニ讓渡シタル者

三 第一條第一項ノ規定ニ違反シテ金製鍊業者及第三條第一項ノ規定ニ依リ含金礦產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者以外ノ者ニ含金礦產物ヲ讓渡シタル者

四 第三條第一項ノ規定ニ違反シテ含金礦產物ヲ買入レ又ハ同條第三項ノ規定ニ違反シテ之ヲ讓受ケタル者

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

金製鍊業者及金製鍊業者ニ對シ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得

詐欺ノ行爲ヲ以テ前條ノ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ金額ノ返還ヲ命ズ

前項ノ規定ニ依リ返還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

第十八條 金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金礦產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ政府ノ命ジタル事項ヲ執行セザルトキハ政府ハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ制限シ、第三條第一項ノ許可ヲ取消シ又ハ法人ノ役員ノ解任ヲ爲スコトヲ得

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ當該金地金又ハ含金礦產物ノ價額ノ三倍ガ五千圓ヲ超ユルトキハ罰金ハ其ノ價額ノ三倍以下トス

一 第一條第一項ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ金地金ヲ政府ニ賣却セザル者

二 第一條第一項ノ規定ニ違反シテ金地金ヲ政府以外ノ者ニ讓渡シタル者

三 第一條第一項ノ規定ニ違反シテ金製鍊業者及第三條第一項ノ規定ニ依リ含金礦產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者以外ノ者ニ含金礦產物ヲ讓渡シタル者

四 第三條第一項ノ規定ニ違反シテ含金礦產物ヲ買入レ又ハ同條第三項ノ規定ニ違反シテ之ヲ讓受ケタル者

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

一 第二條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シテ含金鑛產物ヲ政府ノ指定シタル者以外ノ者ニ讓渡シタル者

二 第三條第一項ノ規定ニ違反シテ金ノ製鍊ヲ爲シタル者

三 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第十一條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者

五 第二十一條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者

六 第四條第一項ノ規定ニ違反シテ事業ヲ廢止シ又ハ休止シタル者

七 第五條第一項又ハ第七條第一項ノ規定ニ違反シテ事業計畫ノ届出ヲ爲サズ又ハ届出デタル事業計畫ヲ實施セザル者

八 第五條第二項又ハ第七條第二項ノ規定ニ依ル變更命令ニ違反シテ事業計畫ヲ實施シタル者

九 第六條又ハ第八條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

十 第二十二條ノ左ノ各號ノ一ニ該當スル者

十一 第四百圓以下ノ罰金ニ處ス

十二 第四條第三項ノ規定ニ違反シテ届出ヲ爲サザル者

十三 第十條第一項又ハ第十二條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ、虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者

十四 第十條第二項ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者

十五 第二十三條ノ法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ第十九條乃至前條ノ違反行為ヲ爲シタルトキハ行為者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦第十九條乃至前條ノ罰金刑ヲ科ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ含金鑛產物ヲ所有スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ニ之ヲ取得シタル者ト看做ス

本法施行ノ際現ニ金製鍊業ヲ營ム者又ハ其ノ事業ヲ承繼シタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ヨリ二月ヲ限リ第三條第一項ノ規定ニ拘ラズ其ノ事業ヲ營ムコトヲ得

前項ニ掲グル者前項ノ期間内ニ金製鍊業ノ免許ヲ申請シタル場合ニ於テ其ノ申請ニ對スル許可否ノ處分ノ日迄亦前項ニ同ジ

金準備評價法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

金準備評價法案

第一條 日本銀行ハ兌換銀行券ノ引換準備ニ充ツル金貨及金地金ヲ當分ノ内貨幣法第二條ノ規定ニ拘ラズ純金ノ量目二百九十ミリグラムニ付一圓ノ割合ヲ以テ評價スベシ朝鮮銀行又ハ臺灣銀行ガ朝鮮銀行券又ハ臺灣銀行券ノ仕拂準備ニ充ツル金貨及金地金ニ付亦同ジ

前項ノ評價ノ方法ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二條 日本銀行、朝鮮銀行及臺灣銀行ハ前條ノ規定ニ依リ評價換ニ因リテ生ジタル利益額ニ相當スル金額ヲ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ政府ニ納付スベシ但シ日本銀行ガ日本銀行金買入法ニ依リ買入保有事ル金地金ニ付テハ同法第六條ノ規定ニ依ル

第三條 政府ハ日本銀行ニ對シ大藏大臣

ノ定ムル所ニ依リ其ノ保有スル金地金ノ一部ヲ第一條ノ規定ニ依リ評價シタル價格ヲ以テ同行ニ於ケル國庫金ノ勘定ニ移スベキコトヲ命ズルコトヲ得

政府ハ朝鮮銀行及臺灣銀行ニ對シ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ際其ノ保有スル金貨及金地金ノ全部又ハ一部ヲ第一條ノ規定ニ依リ評價シタル價格ヲ以テ日本銀行ニ引渡スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第四條 兌換銀行券條例第六條及貨幣法第十四條ノ規定ハ當分ノ内之ヲ適用セズ

朝鮮銀行及臺灣銀行ハ朝鮮銀行法第二十一條第二項又ハ臺灣銀行法第八條第二項ノ規定ニ拘ラズ當分ノ内朝鮮銀行券又ハ臺灣銀行券ノ金貨引換ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

昭和七年勅令第四號ハ之ヲ廢止ス

第一條ニ規定スル評價ノ割合ヲ後日變更スルコトアル場合ニ於テハ日本銀行ハ其ノ變更ニ因リ兌換銀行券ノ引換準備ニ充ツル金貨及金地金ニ付生ズル利益又ハ損失ニ付大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ利益額ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付シ又ハ政府ヨリ其ノ損失額ニ相當スル金額ヲ補填ヲ受クルモノトス朝鮮銀行又ハ臺灣銀行ガ朝鮮銀行券又ハ臺灣銀行券ノ仕拂準備ニ充ツル金貨及金地金ニ付亦同ジ

金資金特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

金資金特別會計法案

金資金特別會計法

第一條 金資金ヲ置キ其ノ歳入歳出ハ一般ノ會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス

第二條 金準備評價法第二條ノ規定ニ依リ日本銀行、朝鮮銀行及臺灣銀行ガ政府ニ納付スベキ金額並ニ日本銀行金買入法第五條第二項及第六條ノ規定ニ依リ日本銀行ガ政府ニ納付スベキ金額ハ之ヲ本資金ニ受入ルベシ

第三條 本資金ハ總額五千萬圓ヲ限リ豫算ノ定ムル所ニ依リ之ヲ產金ノ増加ヲ圖ル爲メ必要ナル費途ニ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ本資金ヲ使用セントスルトキハ其ノ金額ヲ一般ノ歳入ニ繰入レ一般ノ歳出トシテ拂出スベシ

第四條 本資金ハ本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲メ必要ナル金額ヲ除クノ外大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ金又ハ國債ニ運用スルコトヲ得

本資金ノ運用ニ關スル事務ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第五條 本會計ニ於テハ資金運用利殖金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ第三條ノ規定ニ依ル一般會計ヘノ繰入金、事務取扱費、資金運用手数料、附屬諸費及資金運用損失金ヲ以テ其ノ歳出トス

第六條 本資金ニ屬スル資産ニシテ價格ノ減損ヲ生ジタルモノアルトキハ本會計ノ決算上生ジタル剩餘又ハ資金ヨリ之ヲ償却スベシ

第七條 本會計ノ決算上剩餘ヲ生ジタルトキハ前條ノ償却ニ充テ殘餘アルトキハ之ヲ資金ニ繰入ルベシ

本會計ノ決算上不足ヲ生ジタルトキハ之ヲ資金ヨリ補足スベシ

第八條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫

算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ

第九條 本會計ノ毎年度歳出豫算ニ於ケル支出殘額ハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第十條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
兌換銀行券條例第二條第五項ノ借入金及日本銀行金買入法第四條ノ債務ハ本會計ノ負擔トス

日本銀行金買入法廢止ニ關スル法律案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

日本銀行金買入法廢止ニ關スル法律案  
日本銀行金買入法ハ之ヲ廢止ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

朝鮮銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

朝鮮銀行法中改正法律案

朝鮮銀行法中左ノ通改正ス

第二十二條第二項中「五千萬圓」ヲ「一億圓」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

臺灣銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

臺灣銀行法中改正法律案

臺灣銀行法中左ノ通改正ス

第八條第二項中「金貨」ノ下ニ「又ハ兌換銀行券」ヲ加フ

第九條第一項中「金銀貨及地金銀」ヲ「金貨、地金銀及兌換銀行券」ニ、第二項中「二千萬圓」ヲ「五千萬圓」ニ改メ同項及第三項中「紙幣」及「兌換銀行券」ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

外國爲替管理法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

外國爲替管理法中改正法律案

外國爲替管理法中左ノ通改正ス  
第一條第十號中「輸出」ノ下ニ「又ハ輸入」ヲ加フ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

橫濱正金銀行條例中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

橫濱正金銀行條例中改正法律案

橫濱正金銀行條例中左ノ通改正ス

第十六條第二項但書ヲ削リ第三項ヲ左ノ如ク改ム

大藏大臣ニ於テ必要ト思考スルトキハ前項ノ規定ニ依ル副頭取ノ外副頭取一人ヲ置キ日本銀行理事ヲシテ之ヲ兼テシムルコトアルヘシ  
頭取副頭取及取締役ノ職權及責任ハ定款ヲ以テ定ムヘシ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

日本銀行條例第十七條中「四人」ヲ「五人」ニ改ム

橫濱正金銀行條例第二十八條及日本銀行條例第二十五條ノ規定ハ之ヲ本法ニ適用セズ

〔政府委員太田正孝君演壇ニ登ル〕

○政府委員(太田正孝君) 只今議題トナリマシタ產金法案外七件ニ付提案ノ理由ヲ御說明致シマス、先ヅ產金法案ニ付テ申上ゲマス、現下内外ノ情勢ニ鑑ミマシテ國際收支ヲ改善シ、之ヲ適合セシメマスコトハ喫緊ノ要務アリマス、之ガ爲ニハ我が國產金ノ増加ヲ圖リ之ヲ政府ニ集中シ、以テ對外決濟力ヲ豐富ナラシメマス共ニ、正貨準備ヲ鞏固ナラシムルコトガ極メテ必要ナコトト考ヘルノデアリマス、現在ニ於キマシテモ政府ハ果次ノ日本銀行金買入價格ノ引上ニ依リ、國內產金ノ増加並ニ產金ノ集約

ニ努メテ參ツクデアリマス、然ルニ此ノ際更ニ進ンデ新產金ハ、其ノ製成ニ至ル過程ヨリ政府ノ監督ノ下ニ置キ、一層之ガ集約ノ實ヲ舉ゲルコトヲ必要ト認メルノデアリマス、又國內ノ金ノ需要ニ關シマシテハ、正當且安當ナル目的ニ充テラレマスモノハ、適當ナル方法ニ依リ之ヲ需要者ニ頒ツ方針デアリマスルガ、市中ノ所謂鑄漬金ナドニ付キマシテハ、之ヲ現在通リト致シテ置ク方針デアリマス、唯必要ニ應ジ金ノ使用ニ關シマシテハ、或程度ノ制限ヲ加ヘ得ルコトトスルノガ適當デアルト認メルノデアリマス、次ニ政府ハ產金ニ關スル事業ニ對シ必要ナル監督ヲ致シマス共ニ、探鑛ノ獎勵、選鑛場並ニ製鍊場ノ設置助成其ノ他ニ付、豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付シ、又必要ナル器具機械等ノ輸入稅ヲ免除スルナド、適當ナル保護助成ノ方法ヲ講ジマシテ、產金額ノ増加ニ資スルコトガ肝要デアルト認メルノデアリマス、以上ノ理由ニ依ッテ茲ニ本法案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、次ニ金準備評價法案提案ノ理由ヲ御說明致シマス、現在兌換銀行券、朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ金準備ニ充テラレテ居リマスル金ハ、時價ノ著シイ昂騰ニモ拘ラズ、依然貨幣法第二條ノ定ムル所ニ依リ、純金ノ量目七百五十「ミリグラム」ニ付、一圓ノ割合ヲ以テ評價セラレテ居ルノデアリマス、此ノ際ニ是等ノ準備ニ充當セラレテ居リマスル金ヲ、國際の時價ニ近い程度ニ評價換ヲ致シマシテ、金準備ノ實勢ヲ其ノ儘表示致シマスルコトハ誠ニ適切ナル措置デアルト考ヘルノデアリマス、唯貨幣法ヲ改正致シマシテ、所謂平價ノ切下ニ依リ我が國通貨ノ價值ヲ確定致シマスコトハ、尙未ダ其ノ

時期デナイト考ヘラレマスノデ此ノ際ハ金ヲ兌換券發行ノ準備ニ充當スル場合ノ充當價格ニ付テノミ、一應ノ改定ヲ加フルヲ適當ト認メマシテ、現在ノ金ノ時價ニ約一割ノ餘裕ヲ置イテ、純金ノ量目二百九十「ミリグラム」ニ付一圓ト云フ割合ヲ以テ評價換行フコトト致シタイト思ヒマス、此ノ評價換ノ結果生ズル日本銀行、朝鮮銀行及臺灣銀行ノ評價益ハ政府ニ納付セシムルコトトシ、之ヲ以テ特別ノ資金ヲ設ケマシテ、後ニ申上ゲマスルヤウニ特別會計ト致シマシテ、日本銀行所有ノ金地金ノ一部ヲ本會計ニ移シ、又今後ノ新シク産スル金ハ此ノ會計ニ於テ買上ゲ、外國爲替資金ヲ調整スル爲、必要ニ應ジ金ヲ現送スル考デアリマス、又朝鮮銀行及臺灣銀行ニ付キマシテハ、強ヒテ金ヲ準備ニ充當セシムル必要モゴザイマセヌノデ、此ノ際兩行ノ有ツテ居リマスル金ヲ日本銀行ニ集中スル途ヲ開イテ置クコトヲ適當ト認メマス、以上ノ趣意ニ依リ茲ニ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、次ニ資金特別會計法案提出ノ理由ヲ説明致シマス、金準備評價法ニ依リマシテ日本銀行、朝鮮銀行及臺灣銀行ガ政府ニ納付致シマスル金額、竝ニ日本銀行金買入法ニ依リマシテ日本銀行ガ政府ニ納付致シマスル金額ハ、之ヲ以テ特別ノ資金ヲ設置シ、主トシテ爲替資金ノ調整ノ爲之ヲ金ニ運用シ、若シ餘裕アル時ハ國債ニモ運用スルコトトシ、又豫算ノ定ムル所ニ依リマシテ産金ノ増加ヲ圖ル爲ニモ使用シ得ルコトトスルノ計畫デゴザイマス、而シテ其ノ歳入歳出ハ之ヲ一般ノ會計ト區分經理スル爲、特別ノ會計ヲ立ツルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第

デゴザイマス、次ニ日本銀行金買入法廢止ニ關スル法律案ノ提案理由ヲ説明致シマス、政府ハ從來日本銀行ヲシテ金ノ買入ヲ行ハシメテ居リマシタノデゴザイマスガ、前ニ申上ゲマシタ産金法ノ制定ニ伴ヒマシテ、今後ハ金資金特別會計ノ資金ノ運用トシテ、政府ガ金買入ヲ行フコトナリマシタ爲ニ、日本銀行金買入法ヲ存置スル必要ガザイマセヌノデ、之ヲ廢止スルコトトシ、此ノ法律案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、次ニ朝鮮銀行法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、朝鮮銀行券ノ保證發行限度ハ現在五千萬圓デアリマス、ケレドモ此ノ限度ハ大正七年ニ定メラレタモノデアリマシテ、朝鮮ノ經濟及朝鮮銀行券發行ノ現況ナドニ照シマシテ、少額ニ過ギルト思ハレマスノデ、此ノ際之ヲ一億圓ニ擴張スルヲ適當ト認メマシテ、本改正法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、次ニ臺灣銀行法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、現在臺灣銀行券ノ支拂準備ハ、金銀貨及金地金銀トナツテ居ルノデアリマスルガ、今日ニ於キマシテハ支拂準備ヲ是等ノモノニ限ル必要ハナイト認メラレノデアリマシテ、此ノ際朝鮮銀行券ノ例ニ倣ツテ兌換銀行券ヲ支拂準備中ニ加ヘマスルト共ニ、之ニ伴ツテ兌換銀行券ヲ臺灣銀行券ノ引換物件中ニ加ヘルノヲ適當ト認メマス、尙現在臺灣銀行券ノ支拂準備及保證準備ノ中ニハ、銀貨或ハ政府發行ノ紙幣ガ入ッテ居リマスガ、是等ノモノハ今日其ノ必要ガアリマセヌノデ、之ヲ除クノヲ適當ト認メマス、次ニ同臺灣銀行券ノ保證發行限度ハ現在二千萬圓デアリマスガ、此ノ限度モ矢張り大正七年ニ定メラレタノデアリマシテ、臺灣ノ經濟及同銀行券發行ノ現況

ナドニ照シマシテ、少額ニ過ギルト思ハレマスカラ、此ノ際之ヲ五千萬圓ニ擴張致シタイト考ヘマス、斯様ナ次第デ、本改正法律案ヲ提出致シタノデアリマス、次ニ外國爲替管理法中改正法律案ニ付キ提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、貨物ノ無爲替輸入ノ中、代金決済ニ付キマシテ外國送金關係ヲ伴ハナイモノニ付キマシテハ、現在外國爲替管理法ニ依リ取締リ得ナイコトニナツテ居リマスガ、最近爲替管理ノ強化ニ伴ヒマシテ、右ノ缺陷ヲ利用シテ輸入ヲ企テル者ガ段々増加スル虞ガアリマシテ、斯様ナ情況デハ輸入爲替管理ノ完全ナル遂行ニ妨ゲラ生ゼシメマスト共ニ、我方國ノ國際收支ニ於ケル受取勘定ヲ減少セシムルコトナリマスノデ、同法ニ改正ヲ加ヘ、之ガ取締ヲ致シタイト存ズルノデアリマス、最後ニ橫濱正金銀行條例中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、現在我方國ノ外國爲替事情ニ顧ミマスレバ、今後ニ於ケル爲替政策ハ極メテ重要ナルモノトナツテ參ツタノデアリマス、之ニ伴ヒマシテ橫濱正金銀行ハ今後一層其ノ公共的機能ヲ發揮シテ行カネバナラスコトナリマシタノデ、橫濱正金銀行ヲシテ我方國金融ノ中樞機關デアリマスル日本銀行ト緊密ナル繋リヲ持タシメマシテ、其ノ業務ニ付金融爲替政策ノ立場カラ遺憾ナキヲ期セシムル必要ガアルノデゴザイマス、仍テ此ノ際大藏大臣ガ必要ト認メマス場合ニハ、橫濱正金銀行ニ副頭取一名ヲ増シマシテ、日本銀行理事ヲシテ之ヲ兼ネシメ得ル制度ヲ設クルコトトシ、尙之ニ伴ヒマシテ、日本銀行理事ノ定員ヲ一名増加スルヲ適當ト考ヘ、本案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、以上八件ニ關シ、何卒御審議ノ上御協賛アラムコ

トヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ産金法案外七件ハ重要ナル法案デアリマスガ故ニ、其ノ特別委員ノ數ヲ十八名トシ、其ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

(角倉書記官朗讀)

産金法案外七件特別委員

侯爵佐竹 義春君 侯爵小村 捷治君

伯爵兒玉 秀雄君 子爵前田 利定君

子爵大河内輝耕君 子爵岡部 長景君

勝田 主計君 男爵矢吹 省三君

男爵伊藤 文吉君 男爵長 基連君

三浦 新七君 西野 元君

小久保喜七君 土方 久徵君

上郎 清助君 上松 泰造君

金岡又左衛門君 大西虎之介君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十、關稅定率法中改正法律案、日程第十一、昭和七年法律第四號中改正法律案、日程第十二、大正十四年法律第五十一號中改正法律案、日程第十三、鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案、日程第十四、大正九年法律第五十三號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、日程第二十六、昭和十二年勅令第三百三十號、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、最後ノ承諾案ハ關聯スル議案デゴザイマスルカラ、日程ノ順序ヲ變更致シマシテ、



以上五案ト一括シテ議題ニスルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、太田大藏政務次官

關稅定率法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

關稅定率法中改正法律案

關稅定率法中左ノ通改正ス

第七條第四號ノ二ヲ削リ同條第十二號ヲ左ノ如ク改ム

十二 政府ノ專賣品又ハ酒精ノ製造ニ供スル原料品ニシテ政府ノ輸入ニ係ルモノ

第七條ニ左ノ一號ヲ加フ

二十四 命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認許ヲ受ケ輸入スル航空機又ハ航空機用ノ發動機若ハプロペラ

第九條第二項中「輸入原料品ニシテ」ノ下ニ「纖維素バルブ、」ヲ加フ

別表輸入稅表中左ノ如ク改ム

第百十二號ヲ左ノ如ク改ム

第二百七號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二〇七ノ二 石炭ガス

第十一類中「製紙用バルブ」ヲ「纖維素バルブ」ニ改ム

第三百六十二號第二項乙中「每百斤」ヲ削リ「一・〇〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第四百七十七號ノ二ヲ削リ

第五百六十三號中「五割」ヲ「七割」ニ改ム

第五百六十四號ヲ左ノ如ク改ム

五六四 自動車部分品(原動力機ヲ除ク)

一 シャン

甲 輪距二百五十センチメートルヲ超エサルモノ

乙 其ノ他

二 車枠、車輪、前部撥條及後部撥條

三 機關覆、燃料槽、昇降段(エブロン付ノモノヲ含ム)及緩衝器

四 前車軸(ハブ付ノモノヲ含ム)、消音器及タイヤールム

五 後車軸(ハブ付ノモノヲ含ム)、車體用型付鐵板、前扉及後扉

六 變速裝置、換向輪、換向齒車及計器盤(計器ヲ附シタルモノヲ除ク)

七 自在接手及振動減器

八 差動齒車

九 變速齒車

十 其ノ他

|     |        |     |
|-----|--------|-----|
| 從   | 每百斤    | 價六割 |
| 每百斤 | 一三八・三〇 |     |
| 每百斤 | 九二・九二  |     |
| 每百斤 | 八六・〇八  |     |
| 每百斤 | 六三・九九  |     |
| 每百斤 | 四一・三〇  |     |
| 每百斤 | 三〇・二六  |     |
| 每百斤 | 二四・六一  |     |
| 每百斤 | 一四・一七  |     |
| 每百斤 | 四四・四二  |     |
| 每百斤 | 一五四・一五 |     |

第五百七十七號第二項ヲ第三項トシ第一項ヲ左ノ如ク改ム

一 自動車用ノモノ

二 自轉車用ノモノ

|     |       |       |
|-----|-------|-------|
| 從   | 每百斤   | 價三割五分 |
| 每百斤 | 四八・〇〇 |       |

第六百五號第八項ヲ左ノ如ク改ム

八 針布

甲 皮革ヲ用ヰタルモノ

乙 其ノ他

|     |       |          |
|-----|-------|----------|
| 從   | 每百斤   | 價一・二〇・〇〇 |
| 每百斤 | 六〇・六〇 |          |

## 一一二 礦油

一 石炭又ハ油母頁岩ヨリ製造シタルモノ

二 其ノ他

甲 原油及重油

攝氏十五度ニ於ケル比重

イ 〇・九三四ヲ超エタルモノ

ロ 〇・九〇四ヲ超エタルモノ

ハ 〇・八六〇ヲ超エタルモノ

ニ 其ノ他

但シ蒸餾法ニ依リ攝氏二百十五度迄ニ留出スル油液ノ原液ノ容量ニ對スル百分率四十ヲ超エタルモノハ四十以上一ヲ増ス毎ニ一キロリットルニ付三十錢ヲ加フ

乙 其ノ他(動植物性ノ油及脂、石鹼、酒精等ヲ含有スルモノヲ含ム)

攝氏十五度ニ於ケル比重

乙ノ一 〇・八〇一ヲ超エサルモノ

乙ノ二 〇・八四九ヲ超エサルモノ

乙ノ三 其ノ他

イ 融解點攝氏十五度ヲ超エサルモノ

ロ 其ノ他

|         |       |
|---------|-------|
| 每キロリットル | 六・七五  |
| 每キロリットル | 一〇・三〇 |
| 每キロリットル | 一八・〇〇 |
| 每キロリットル | 二三・四〇 |
| 無稅      |       |
| 每キロリットル | 四六・二〇 |
| 每キロリットル | 四一・〇〇 |
| 每キロリットル | 七一・二〇 |
| 每百キログ   | 八・三〇  |

同號第十四項ヲ左ノ如ク改ム

- 十四 軸受及同部分品  
甲 軸受  
乙 ベアリングボール  
丙 其ノ他  
十五 其ノ他

第六百七號ノ二中「〇・六〇」ヲ「一・六五」ニ改ム  
第六百四十六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ  
六四六ノ二 變性糖蜜

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
本法施行前第七條第四號ノ二ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受ケタル物品ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

昭和七年法律第四號中改正法律案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議  
院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽  
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

昭和七年法律第四號中改正法律案  
昭和七年法律第四號中左ノ通改正ス  
別表輸入税表番號第二十二號ノ項ノ次ニ  
左ノ二項ヲ加フ

四〇 砂糖

- 二 和蘭標本色相第二十  
二號未滿ノモノ  
三 其ノ他  
四一 氷砂糖、角砂糖、棒砂糖其  
ノ他類似ノモノ  
同第一百十二號ノ項ヲ左ノ如ク改ム

一一二 礦油

- 二 其ノ他  
同第一百五十八號ノ二ノ項ノ次ニ左ノ一項  
ヲ加フ

一六四 苛性曹達及苛性加里

- 二 其ノ他ノ内苛性曹達  
同第二百五十九號ノ二ノ項ノ次ニ左ノ五

項ヲ加フ

- 二七二 綿織絲（別號ニ掲ケタル特  
殊綿織絲ヲ除ク）  
二八三 毛織絲  
二八四 毛綿織絲  
二九〇 人造絹（アセチルセルロー  
ス製ノモノヲ除ク）  
三六一 纖維素バルブ  
同第三百六十二號ノ項ヲ左ノ如ク改ム  
三六二 印刷料紙  
二 其ノ他  
乙 其ノ他

- 三六七 包裝用紙及燐寸用紙（チッ  
シューペーパーヲ除ク）  
同第四百六十三號ノ二ノ項ノ次ニ左ノ五  
項ヲ加フ  
四六四 銅

- 一 塊及錠  
二 條及竿  
三 板  
四 線  
六 筒及管  
甲 金屬ヲ鍍セサルモ  
ノ

四六五 鉛

- 一 塊及錠  
五 管

四六六 錫

- 一 塊及錠  
三 箔

四六七 亞鉛

- 一 塊、錠及粒  
二 板  
乙 其ノ他

- 四 屑及故（改造用ノミ  
ニ適スルモノ）

四七一 眞鍮及青銅

同第五百四十九號ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ  
加フ  
五五四 自動車部分品（原動力機ヲ  
除ク）

一 シャン

- 二 車枠、車輪、前部撥  
條及後部撥條  
三 機關覆、燃料槽、昇  
降段（エプロン付ノ  
モノヲ含ム）及緩衝  
器

- 四 前車軸（ハブ付ノ  
モノヲ含ム）、消音器  
及タイヤリム

- 五 後車軸（ハブ付ノ  
モノヲ含ム）、車體用  
型付鐵板、前扉及後  
扉

- 六 變速裝置、換向輪、  
換向齒車及計器盤  
（計器ヲ附シタルモ  
ノヲ除ク）

- 七 自在接手及振動減器

- 七 屑及故（改造用ノミ  
ニ適スルモノ）

五七七 內燃機關

- 一 自動車用ノモノ  
同第六百五號ノ項ヲ左ノ如ク改ム  
六〇五 機械部分品（別號ニ掲ケサ  
ルモノ）

二 ロール及ローラー

- 甲 鐵製ノモノ  
甲ノ二 其ノ他  
乙 其ノ他

八 針布

- 十 箴（金屬製ノモノ）  
十四 軸受及同部分品  
乙 ベアリングボール

六〇七ノ二 カツザヴァルト

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ別表  
輸入税表番號第四十號、同第四十一號、  
同第六百四十四號、同第六百七十二號、同  
第六百八十三號、同第六百八十四號、同  
第六百九十號、同第六百六十一號、同第  
三百六十二號、同第三百六十七號、同第  
四百六十四號乃至同第四百六十七號及同  
第四百七十一號ノ項ノ改正規定ハ昭和十  
二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

參照

昭和七年法律第四號ハ輸入税ノ從量税  
率ニ關スル法律ナリ

大正十四年法律第五十一號中改正法律  
案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議  
院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽  
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿



大正十四年法律第五十一號中改正法律案

大正十四年法律第五十一號中左ノ通改正ス

別表甲號輸入稅表番號第七十二號ノ内ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

一二〇ノ内大豆硬化油(關東州ノ生産ニ係ル大豆油ヲ原料トシタルモノ)

同第二百二十九號ノ内ノ項ヲ左ノ如ク改ム

二二九ノ内硫酸マグネシア及硝酸アンモン

別表乙號輸入稅表番號第二百二十號ノ内ノ項ヲ削ル

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

大正十四年法律第五十一號ハ關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入稅免除等ニ關スル法律ナリ

鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案

關稅定率法別表輸入稅表第四百六十二號ニ掲グル鐵(別號ニ掲ゲタル特殊鋼ヲ除ク)ノ輸入稅ハ本法施行ノ日ヨリ昭和十四年六月三十日迄之ヲ免除ス  
前項ノ期間ハ政府特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ニ依リ物品ヲ指定シ之ヲ短縮

官報號外

昭和十二年八月六日

貴族院議事速記第九號 關稅定率法中改正法律案外五件 第一讀會

スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
昭和十二年勅令第三百十號ハ之ヲ廢止ス

大正九年法律第五十三號中改正法律案右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

大正九年法律第五十三號中改正法律案

大正九年法律第五十三號中左ノ通改正ス  
第二條第一號中「面」ヲ「邑面」ニ改メ同條第六號ヲ第九號トシ同條第五號ノ次ニ左ノ三號ヲ加フ

六 第四號ノ車輛ニシテ破損シタルモノ並ニ其ノ解體材及備品、附屬品

七 朝鮮總督ノ定ムル陸接國境隣接地域内ノ住民カ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ加工又ハ修繕ノ爲輸出シタル物品ニシテ輸出ノ日ヨリ六月内ニ再輸入スルモノ

八 朝鮮ニ於テ揮發油ニ混入スヘキアルコールノ製造ニ供スル原料品但シ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ認可ヲ受ケ輸入スルモノニ限ル

第二條ノ二 陸接國境ヲ經テ朝鮮ニ輸入シタル左ノ物品ニシテ輸入ノ日ヨリ一年内ニ再輸出スルモノニハ輸入稅ヲ免除ス但シ輸入ノ際稅金ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

一 鐵道車輛及其ノ備品、附屬品但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ輸入スルモノ

ニ限ル

二 朝鮮總督ノ定ムル陸接國境隣接地域内ニ於テ使用スル物品但シ朝鮮總督ノ指定シタルモノニ限ル

第三條第一項中「三萬五千匁」ヲ「十萬匁」ニ改メ「製鐵事業」ノ下ニ「又ハ砂鐵若ハ朝鮮總督ノ定ムル鐵鑛ノ製鍊ヲ目的トスル特殊ノ設備ヲ以テ營ム製鐵事業」ヲ加フ

第七條ノ二 雄基港、羅津港及清津港ニ於テ稅關長カ外國貨物ヲ藏置シ得ヘキ場所トシテ指定シタル場所ニ於テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ稅關長ノ許可ヲ得テ貨物ノ改裝、仕分及混合ヲ爲スコトヲ得

第八條中「面事務所」ヲ「邑面事務所」ニ、「面」ヲ「邑面」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

大正九年法律第五十三號ハ關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律ナリ

昭和十二年勅令第三百十號

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

昭和十二年勅令第三百十號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ鐵ノ輸入稅免除ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ

公布セシム

御名 御璽

昭和十二年四月十五日

內閣總理大臣 林 銑十郎

農林大臣 山崎達之輔

遞信大臣 伯爵兒玉 秀雄

海軍大臣 米内 光政

司法大臣 鹽野 季彦

商工大臣 伍堂 卓雄

鐵道大臣 河原田 稼吉

內務大臣 結城 豐太郎

拓務大臣 杉山 元

陸軍大臣 佐藤 尙武

外務大臣

勅令第三百十號

關稅定率法別表輸入稅表第四百六十二號ニ掲グル鐵(別號ニ掲ゲタル特殊鋼ヲ除ク)ノ輸入稅ハ本令施行ノ日ヨリ昭和十三年三月三十一日迄之ヲ免除ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員 太田正孝君 演壇ニ登ル〕

○政府委員(太田正孝君) 只今議題トナリ

マシタモノノ中、關稅定率法中改正法律案外三件及昭和十二年勅令第三百十號ノ承諾ヲ求ムル件ニ付、一括シテ御説明ヲ申上ゲマス、先ヅ關稅定率法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、今回提出致シマシタ改正案ハ、稅率ノ改正ト致シマシテハ礦油外九品目ニ關スルモノデアリマスガ、其ノ中主ナルモノハ、礦油ト自動車及自動車關係品デアリマス、礦油ニ付キマシテハ、人造石油ノ項ヲ設ケマシテ之ヲ無稅ト爲シ、其ノ他ノモノハ其ノ關稅率ヲ引上ゲマシテ、液體燃料

ノ自給促進ヲ圖リタイト存ジマス、又自動車及自動車關係品ニ付キマシテハ、稅率ノ引上ニ依リマシテ、國內ニ於ケル自動車製造事業ノ確立ヲ助長スルナド、是等產業國策ノ遂行ニ資セムトスルモノデアリマス、右ノ稅率改正ノ外、燃料用礦油ノ關稅ヲ免除スル規定ノ廢止、バルブノ製造ニ供スル木材ノ關稅ヲ免除スル規定ノ新設ナド、二三ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、次ニ昭和七年法律第四號、即チ輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件ノ改正法律案ニ付テ申上ゲマス、現ニ此ノ法律ニ依リ關稅定率法ニ依リ稅率ノ三割五分ヲ附加セラレテ居ル物品ノ中デ、國民生活又ハ國內產業等ニ重要ナル關係ヲ有スルモノト認メラレマスル砂糖外十四品目ニ付キマシテハ、物價ノ調整ニ資スル等ノ爲、之ヲ本法ノ別表ニ追加シ、以テ三割五分附加ノ範圍カラ除外スルヲ適當ト認メタゾデアリマス、尙今回ノ關稅定率法中改正法律ニ依リマシテ、其ノ稅率ヲ改正セラルベキ物品ノ中、新タニ從量稅率ヲ定メマシタノハ、各般ノ事情ヲ考ヘマシテ適當ト認メタゾ配シマシタノデアリマサルカラ、前例ニ依リマシテ之ヲ本法ノ別表ニ追加シ、整理ノ改正ヲナサムトスルノデゴザイマス、次ハ大正十四年法律第五十一號中改正法律案デゴザイマス、今日關東州ノ生産ニ係ル大豆油原料トシテ、關東州ニ於テ製造致シマシタ大豆硬化油ハ、本法ニ依ッテ一般稅率ヨリモ低減シタ稅率ニ相成ッテ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ全額免除スルコトト致シタイノデアリマス、又最近關東州ニ於テ生産ヲ見ルニ至リマシタ硝酸「アンモン」ニ付キマシテモ、之ガ輸入ニ便スル爲、其ノ輸入稅ヲ免除スルノヲ適當ト認

メマシテ、本改正案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス、最後ニ鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案及昭和十二年勅令第三百三十號、即チ鐵ノ輸入稅免除ニ關スル緊急勅令ノ承諾ヲ求ムル件ト併セテ御說明申上ゲマス、前第七十議會ニ鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案ガ提出サレテ、審議未了ニ終ツタノデゴザイマスガ、其ノ後ニ於ケル鐵ノ供給不足ト其ノ價格ノ暴騰トハ、公私ノ重工業ノ圓滑ナル運行ヲ阻害シ、延イテ一般產業ニ重大ナル影響ヲ及シ、國家緊急要務タル國防ニ妨ゲヲ來ス虞ガアリマスノデ、去ル四月十五日勅令第三百三十號ヲ以テ鐵ノ輸入稅免除ニ關スル緊急勅令ガ公布セラレタノデアリマス、仍テ帝國議會ノ承諾ヲ求ムル爲、茲ニ之ヲ提出シタ次第デゴザイマス、然ルニ鐵ノ輸入稅ニ付キマシテハ、其ノ生産、輸入、需給等ノ情況ニ顧ミマシテ、前議會ニ提案致シマシタ通り昭和十四年六月迄ノ最長限度トシテ之ヲ免除スルノガ適當デアルト認メラレマスノデ、茲ニ之ニ關スル法律案ヲ提出致シ、曩ノ緊急勅令ハ之ヲ廢止スルコトニ致シタイノデゴザイマス、尙詳細ノコトニ付キマシテハ適當ノ機會ニ於テ御說明ヲ申上ゲタイト存ジ上ゲマス、何卒御審議ノ上、速カニ御協賛並ニ御承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

（國務大臣大谷尊由君演壇ニ登ル）

○國務大臣（大谷尊由君） 大正九年法律第五十三號、關稅法、關稅定率法、保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律中改正法律案ニ付テ御說明申上ゲマス、本法律案ハ前議會ニ於テ之ヲ提出致シマシタル處、解散ニ依リ審議未了トナリマシタノデ、内容ヲ若干追加致シマシテ、

茲ニ再び提出致シマシタ次第デアリマス、朝鮮ニ於ケルマシテモ燃料國策ニ順應シ、大體內地ト同様ニ揮發油及「アルコール」ノ混用制度ヲ實施スル計畫デアリマシテ、混入用「アルコール」ノ製造ハ、差當リ政府ノ免許ヲ受ケタル民間事業者ヲシテ之ニ當ラシムル方針デアリマスノデ、其ノ低廉豐富ナル供給ヲ圖リマス爲、混入用「アルコール」ノ原料品ノ輸入稅ヲ免除セムトスルノデアリマス、次ニ日滿陸境國境ヲ經由スル交通貿易ノ進展ヲ圖リ、陸境國境隣接地域住民ノ便利ニ資スル爲、若干ノ免稅規定ヲ設ケマスルト共ニ、雄基、羅津及清津ノ三港ノ保稅區域內ニ於ケル大豆其ノ他ノ滿洲特產品ノ取扱上必要ナル特例ヲ認メムトスルノデアリマス、最後ニ製鐵事業法ノ制定ニ伴ヒ輸入稅免除ノ特典ヲ與フル製鐵事業者ノ資格ヲ改正スルト共ニ、曩ニ行ハレマシタ朝鮮ニ於ケル地方制度ノ改正ニ伴フ字句ノ修正ヲ爲サムトスル次第デアリマス、何卒宜シク御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ關稅定率法中改正法律案外五件ノ法案ハ、重要ナル法案デアリマスガ故ニ、其ノ特別委員ノ數ヲ是亦十八名トシ、其ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○議長（伯爵松平賴壽君） 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

（異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

（角倉書記官朗讀）

關稅定率法中改正法律案外五件特別委員

公爵岩倉 具榮君 侯爵筑波 藤齋君  
伯爵黑木 三次君 子爵伊東二郎丸君  
子爵裏松 友光君 子爵高橋 是賢君  
山川 端夫君 男爵大藏 公望君  
男爵東郷 安君 男爵安場 保健君  
菅原 通敬君 稻畑勝太郎君  
磯村豐太郎君 佐々木八十八君  
大澤德太郎君 山田仙之助君  
水野甚次郎君 出光 佐三君

○議長（伯爵松平賴壽君） 日程十五ヨリ日程二十五迄ノ承諾ヲ求ムル件會議、是等ノ十一件ヲ一括シテ議題トスルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

（異議ナシト呼フ者アリ）  
○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナイト認メマス、太田政府委員

昭和十年度第一豫備金支出ノ件

昭和十年度特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和十年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和十年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件

自昭和十一年一月昭和十年度第二豫備金支出ノ件

自昭和十一年一月昭和十年度豫備金外至同 年三月

自昭和十一年一月昭和十年度特別會計至同 年三月

自昭和十一年一月昭和十年度特別會計至同 年三月

自昭和十一年一月昭和十年度特別會計至同 年三月

豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十一年度第二豫備金支出ノ件  
昭和十一年度特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ  
因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
昭和十二年八月四日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

○政府委員(太田正孝君) 只今議題トナリ

マシタ昭和十一年度第一豫備金支出外十件ニ關スル事後承諾ヲ求ムル件ニ付キマシテ、其ノ大體ノ説明ヲ致シマス、昭和十一年度第一豫備金ノ豫算額ハ六百萬圓デアリマスガ、昭和十一年度勅令第二百六十八號ニ依リマシテ、第一豫備金ヨリ補充致シマシタ主ナル事項ハ、檢丁及新兵旅費、軍事救護費、内國稅拂戻金、海軍主食品購買費、刑務所收容費ナドデアリマシテ、其ノ總額ハ六百萬圓デアリマス、各特別會計ニ於キマシテモ、其ノ第一豫備金又ハ豫備費ヨリ豫算超過ノ支出ヲ致シタモノガゴザイマス、次ニ昭和十一年度滿洲事件第一豫備金支出ニ付申上ゲマス、昭和十一年度滿洲事件第一豫備金ノ豫算額ハ五百萬圓デアリマスガ、昭和十一年度勅令第二百六十八號ニ依リマシテ、滿洲事件費ニ補充致シマシタ金額ハ五百萬圓デアリマス、次ニ昭和十一年一月ヨリ三月ニ至ル間ニ於ケル昭和十一年度第二豫備金支出ニ付申上ゲマス、昭和十一年度第二豫備金ノ豫算額及ビ其ノ支出總額ハ二千三百萬圓デアリマシテ、内昭和十一年十二月以前ノ支出ニ係ル千九百二十萬八千五百六十六圓ハ、既ニ第六十

官報號外

昭和十二年八月六日

貴族院議事速記第九號

人造石油製造事業法案外一件

第一讀會ノ續

九回帝國議會ニ於テ御承諾ヲ得テ居リマスガ、其ノ後昭和十一年一月及同二月ニ支出致シマシタ金額ハ三百九十七萬九千四百四十四圓デゴザイマス、其ノ中主ナル事項ヲ舉ゲマスレバ衆議院議員總選舉諸費補足、衆議院議員總選舉檢察費ノ補足、災害地方尋常小學校臨時補助、東北地方其ノ他各地冷害應急施設費等デアリマス、各特別會計ニ於キマシテモ、其ノ第二豫備金ヲ以テ豫算外ノ支出ヲ致シタモノガアリマス、次ニ昭和十一年度豫備金外支出ニ付申上ゲマス、昭和十一年一月衆議院解散ノ結果、緊急支出ヲ要スル費途ニ對シ、政府ハ已ムヲ得ズ昭和十一年二月一日ヨリ三月三十日ニ至ル間ニ於キマシテ、國庫剩餘金及公債金ノ繰入ヲ以テ、豫算超過及豫算外ノ支出ヲ爲シタモノガゴザイマス、其ノ中主ナル事項ヲ申上ゲマスレバ、國庫剩餘金支出ニ依リマシタモノハ、内國稅拂戻金、恩給、臨時警備諸費ナドデアリマシテ、公債金ノ繰入ニ依リマシタモノハ、北海道及青森外八縣應急土木事業助成費、關東及關西地方其ノ他各地風水害復舊施設費、東北地方其ノ他各地冷害應急施設費等デアリマシテ、其ノ總額ハ千四百七十七萬五千七百五十五圓デアリマス、各特別會計ニ於キマシテモ、其ノ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外ノ支出ヲ爲シタモノガゴザイマス、次ニ昭和十一年度第二豫備金支出ニ付申上ゲマス、昭和十一年度第二豫備金ノ豫算額ハ二千三百萬圓デアリマシテ、昭和十一年四月カラ同年十二月ニ至ル間ニ於ケル支出總額ハ九百三十九萬五千五百九十九圓デゴザイマス、其ノ中主ナル事項ヲ申上ゲマスレバ、電信料補足、臨時警備諸費、水陸警備費補足、航空隊設備費補足、艦船

其ノ他損傷復舊費ナドデアリマス、各特別會計ニ於キマシテモ、其ノ第二豫備金ヲ以テ豫算外ノ支出ヲ致シタモノト、豫備金外ニ於テ其ノ國庫剩餘金ヲ以テ、豫算外ノ支出ヲ爲シタモノトガゴザイマス、何卒御審議ノ上御承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御質疑モナケレバ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス  
(右橋書記官朗讀)  
昭和十一年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件) 外十件特別委員  
侯爵德川 義親君 子爵白川 資長君  
子爵梅園 篤彦君 男爵今園 國貞君  
中村純九郎君 藤沼 庄平君  
野村 徳七君 大和田健三郎君  
氏家 清吉君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第二十七、人造石油製造事業法案、日程第二十八、帝國燃料興業株式會社法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ二案ヲ一括シテ議題トスルコトニ御異議アリマセスカ  
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス、委員長一條公爵  
(左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス以下之ニ依テ)  
人造石油製造事業法案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
昭和十二年八月四日  
委員長 公爵一條 實孝  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

帝國燃料興業株式會社法案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
昭和十二年八月四日  
委員長 公爵一條 實孝  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

○公爵一條實孝君 人造石油製造事業法案外一件特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此ノ兩法案ハ第七十回ノ帝國議會ニ提出セラレタモノト同一ノ趣旨ニ基キ提出セラレタモノデアリマシテ、我方國ニ於ケル液體燃料供給ノ實情ニ鑑ミマシテ、之ガ供給ヲ確保スル爲、速カニ人造石油製造事業ノ振興確立ヲ圖ル目的ヲ以テ立案セラレタルモノデゴザイマス、委員會ハ昨四日午前午後ニ互リマシテ、先ヅ委員長、副委員長ノ互選ヲ行ヒ、引續キ審議ニ入り慎重審議ヲ重ネタノデアリマス、其ノ詳細ノコトニ付キマシテハドウゾ速記録ヲ御覽ヲ願ヒタイノデアリマスルガ、此處ニハ質疑中ノ主ナルモノヲ拾ヒマシテ申上ゲタイト存ジマス、第一ノ御質疑ハ此ノ兩法案ハ前議會ニ提出シタモノト同一カドウカ、第二ノ御質疑ハ本事業ノ振興上技術的ニ政府ハ確信ヲ持ッテ居ルカドウカ、第三ニ原料ノ石炭ノ供給ニ支障ヲ來スヤウナコトハナイカドウカ、第四ニハ生産費ノ見込及獎勵金ノ交付見込額ハドレ位ニナルカ、第五ニハ帝國燃料興業株式會社ノ事業ノ範圍ハドウカ、第六ニハ人造石油製造事業ヲ海軍自ラ經營スルノ意思ハナイカ、又帝國燃料興業株式會社自カラ人造石油ノ製造販賣ヲナサシムル意思ハナイカドウカ、第七ニ液體燃料委員會ハ極メテ重要ナル機關デアルト思フガ、其ノ機構ニ付テハ十分各方面ノ權威者ヲ網

羅スルヤウニ考慮シテ居ルカドウカ、第八ニハ人造石油製造ハ必要デアルガ、天然石油資源ノ開發ニ對スル政府ノ考ハドウカ等ノ諸點ニ關シ質疑ガアツタデアリマス、之ニ對シマシテ政府ヨリソレハ「次ノ如キ答辯ガアリマシタ、第一ノ質疑ニ對シマシテハ、兩法案中、帝國燃料興業株式會社法案ハ前議會提出ノモノト全然同一デアリマスルガ、人造石油製造事業法案ハ十九條、二十條、二十五條ノ三箇條ノ訂正ヲシタト云フ御答デアリマシタ、第二ニ人造石油製造ニ關スル技術ニ付テハ何等懸念スルコトハ必要デナイ、第三ニ原料トシテノ石炭ノ供給ニ付テハ、十分民間者トモ連絡協同シ、其ノ増產計畫ノ遂行ニ努メル方針デアツテ、日滿兩國ニ於ケル石炭埋藏量及當業者ノ意向ニ徵スルモ、其ノ供給ニ不足ヲ來スヤウナ心配ハナイト云フコトデアリマス、第四ニハ人造石油ノ生産費ハ天然石油ニ比シ、相當高價タルヲ免レナイガ、差當リノ推算ニ依レバ揮發油「ガロン」、直接液化法ニ依ルモノガ七十四五錢程度、合成法ニ依ルモノガ六十七八錢程度ノ見込デアル、將來ハ技術ノ進歩、操作ノ習熟、經營ノ合理化等ニ依ツテ、生産費モ低下スルモノト期待シテ居ル、而シテ本事業ノ振興發達上之ガ採算化ヲ圖ル爲、天然石油ノ生産費トノ差額ヲ獎勵金トシテ交付スル方針デアツテ、七箇年間ニ於ケル總額ガ約九千五百萬圓見當デアルトノコトデアリマス、第五ニハ帝國燃料興業株式會社ノ事業トシテハ、本事業ノ進行上必要ナル約七億七千萬圓ノ資金調達ニ對スル援助ヲナス爲、差當リ民間ニ於ケル人造石油製造事業ニ對スル投資ヲ爲スコトヲ主トシテ居ルガ、必要ナ場合ニハ自ラ製造又ハ販賣事業ト、内外ノ特許權ノ買収、其ノ他技術又ハ經營上ノ指導、技術者ノ養成等ノ事業ヲモ營マシムルモノデアルトノコトデアリマス、第六ニハ海軍ニ於テハ目下ノ

所、自ラ人造石油製造事業ヲ經營スルノ意向ナキモ、技術ノ研究ハ引續キ行フ方針デアルトノコトデアリマス、第七液體燃料委員會ノ構成ニ關シテハ、石油業法ニ基キ石油業委員會ヲ設置シタルト同一趣旨ニ依ツテ、各方面ノ知識經驗アル權威者ヲ委員トシテ御願スル所存デアルトノコトデアリマス、第八ニ天然石油資源ノ開發ニ關シテハ、油田調査ニ試掘ノ徹底等ニ付、尙一層努力スル所存デアルトノ答デアリマシタ、斯クテ質疑應答ヲ終リマシテ討論ニ入り、一委員ヨリハ此ノ二法案ハ我が國燃料國策ノ一部ノ現レトシテ贊成ヲ表スルガ、更ニ根本的ノ燃料國策ノ樹立ト云フコトニ付テハ甚ダ心許ナイ、ドウゾ一層ノ努力ヲシテ欲シイト云フ意味ノ陳述ガアリマシタ、又一委員ヨリハ、現下ノ國情カラ見テ、一刻モ早ク燃料ノ供給ヲ得タイ熱望ヨリシテ、兩案ニハ贊成スルガ、十分ノ努力ヲ望ム、更ニ一委員ヨリ次ノ如キ希望條件ヲ付シテ兩案ニ贊成シタイ、斯ウ云フ申出ガアリマシタ、希望決議ヲ讀ミ上ゲマス

希望決議

一、帝國燃料興業株式會社ヲシテ單ニ投資機關タルニ止マラズ宜シク指導的實行機關タルシムベシ

二、政府ハ燃料研究機關ノ統制ヲ計リ充分ナル助成ヲナスベシ

三、人造石油事業ニ對シ國內ノ發明考案ヲ獎勵助長スベキハ勿論、必要ナル場合ニハ外國技術ノ輸入外國技師ノ招聘等ヲ考慮スベシ

之ニ對シマシテハ政府ニ於テ十分ニ其ノ趣旨ニ副フヤウニ努メルト云フ御答ガアリマシタ、斯クテ兩案ノ採決ヲ致シマシタ所ガ、全會一致ヲ以テ可決スベシト議決致シマシタ、更ニ只今申上ゲマシタ希望條件ニ付キマシテ採決ヲ致シマシタ處、委員會全會一致、希望條件ヲ可決致シタデアリマス、以

上御報告ヲ申上ゲマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ兩案ノ採決ヲ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 兩案ノ第三讀會ヲ開キマス、兩案全部、第二讀會ノ決議通りヲ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第二十九、大正十二年法律第五十二號中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

大正十二年法律第五十二號中改正法律案

右本院提出案及送付候也

昭和十二年八月三日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

大正十二年法律第五十二號中左ノ通改正ス

第一項中「昭和十二年十二月三十一日迄」ヲ「昭和十六年十二月三十一日迄」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔石橋書記官朗讀〕

大正十二年法律第五十二號中改正法律案特別委員

侯爵井上 三郎君 子爵秋月 種英君

山川 端夫君 柴田善三郎君

男爵本多 政樹君 男爵渡邊 修二君

山隈 康君 佐々木八十八君

山上 岩二君

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ニテ日程ハ全部終了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時十分散會

貴族院議事速記第八號正誤

頁 段 行 誤 正

七九 二 二二 二三 違反シタル 違反シタル者

七十九頁三段二十五行 非訟事件手續法以下ハ別行ト爲ルヘキノ誤

内閣印刷局